

労働力調査（詳細集計） 平成22年 1～3月期平均

結果の概要	1
Ⅰ 雇用者（役員を除く）	1
1 雇用形態	
2 非正規の職員・従業員の内訳	
Ⅱ 完全失業者	3
1 仕事につけない理由	
2 失業期間	
3 主な求職方法	
4 前職の雇用形態	
Ⅲ 非労働力人口	6
1 就業希望の有無	
2 就業希望者	
統計表	8

労働力調査の集計区分

労働力調査には次の集計区分があり、本冊子には、 部分の結果を収録している。

《基本集計》・・・基礎調査票から集計される事項について公表

〔主な集計事項〕 労働力人口，就業者数・雇用者数（産業別など），就業時間，
完全失業者数（求職理由別など），完全失業率，非労働力人口など

《詳細集計》・・・主として特定調査票から集計される事項について公表

〔主な集計事項〕 雇用形態別雇用者数（正規・非正規の職員・従業員など），
仕事につけない理由，失業期間，就業希望の有無など

※詳細集計では、刑務所・拘置所等のある区域及び自衛隊区域の施設内の居住者を
除いている。また、詳細集計では、基本集計の約4分の1の世帯が対象となっ
ていることなどから、基本集計とは数値は必ずしも一致しない。

※詳細集計は、平成14年から（対前年同期増減は15年から）の時系列比較が可能と
なっている。（平成13年以前については次ページの（注）を参照）

参 考

○平成22年 1～3 月期平均（基本集計）結果の概要 〔平成22年 4 月30日公表済み〕

[全国]

- ・就業者数は6203万人と、前年同期に比べ64万人の減少
- ・完全失業者数は332万人と、前年同期に比べ28万人の増加
- ・完全失業率（原数値）は5.1%と、前年同期に比べ0.5ポイントの上昇

（注）

＜＜労働力調査（詳細集計）の時系列データについて＞＞

詳細集計は平成14年 1 月から開始し、13年以前はほぼ同じ内容を労働力調査特別調査として実施していた（労働力調査特別調査は14年に労働力調査に統合）。

このため、詳細集計では、労働力調査特別調査と調査時期や調査対象等に相違があることに留意すれば、労働力調査特別調査の結果までさかのぼって集計結果を比較することが可能である。

ただし、現時点の詳細集計と調査項目がほぼ同じ昭和59年 2 月の労働力調査特別調査から比較可能となる。（以下、表参照）

表 労働力調査（詳細集計）と労働力調査特別調査の主な相違点

	労働力調査（詳細集計）	労働力調査特別調査
調査時期	毎月実施	毎年 2 月に実施。ただし、平成11年から13年までは、2 月のほかに 8 月も実施
調査対象	基本集計（約 4 万世帯）の約 4 分の 1 の世帯（約 1 万世帯）を対象	約 4 万世帯を対象。ただし、8 月調査は約 3 万世帯を対象
集計及び公表	四半期平均及び年平均を公表	調査月の単月結果を公表

労働力調査特別調査結果と併せた詳細集計の時系列表については、以下のURLで入手可能

URL : <http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm>

表9 雇用形態別雇用者数(正規の職員・従業員, 非正規の職員・従業員(パート・アルバイト, 派遣社員など))

表10 年齢階級, 雇用形態別雇用者数(正規の職員・従業員, 非正規の職員・従業員(パート・アルバイト, 派遣社員など))

労働力調査（詳細集計）

結果の概要（平成22年1～3月期平均）

【雇用者（役員を除く）】

- ・雇用者（役員を除く）（5071万人）のうち、
正規の職員・従業員は3363万人と、前年同期に比べ23万人の減少。
非正規の職員・従業員は1708万人と、9万人の増加。
非正規の職員・従業員のうち、パート・アルバイトは1150万人と、18万人の増加

【完全失業者】

- ・完全失業者（332万人）のうち、失業期間が「3か月以上」の者は232万人と、
前年同期に比べ49万人の増加。このうち「1年以上」は114万人と、23万人の増加

I 雇用者（役員を除く）

1 雇用形態

- ・正規の職員・従業員は3363万人と、前年同期に比べ23万人の減少。4期連続の減少。
非正規の職員・従業員は1708万人と、9万人の増加。5期ぶりの増加
- ・雇用者（役員を除く）に占める非正規の職員・従業員の割合は33.7%と、前年同期に比べ0.3ポイントの上昇。5期ぶりの上昇

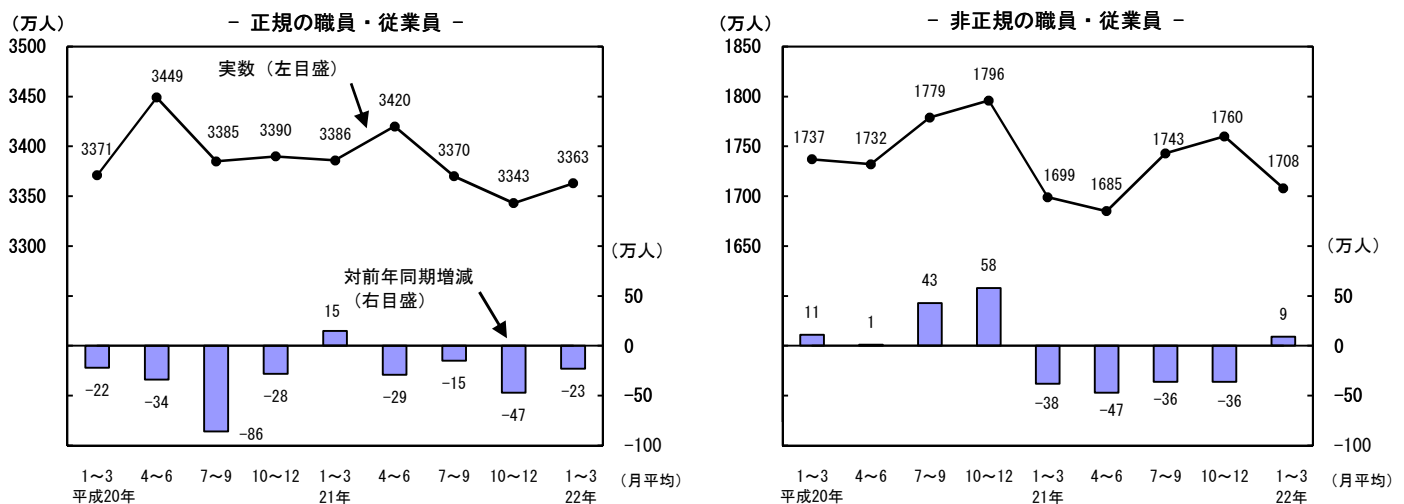
表1 雇用形態別にみた雇用者（役員を除く）の推移

		平成20年				21年				22年
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
実数 (万人)	役員を除く雇用者	5108	5181	5164	5185	5086	5105	5112	5107	5071
	正規の職員・従業員	3371	3449	3385	3390	3386	3420	3370	3343	3363
	非正規の職員・従業員 ^{注1}	1737	1732	1779	1796	1699	1685	1743	1760	1708
対前年同期増減 (万人)	正規の職員・従業員	-22	-34	-86	-28	15	-29	-15	-47	-23
	非正規の職員・従業員	11	1	43	58	-38	-47	-36	-36	9
割合(%) ^{注2}	非正規の職員・従業員	34.0	33.4	34.5	34.6	33.4	33.0	34.1	34.5	33.7
対前年同期増減 (ポイント)	非正規の職員・従業員	0.3	0.2	1.2	0.9	-0.6	-0.4	-0.4	-0.1	0.3

注1) 非正規の職員・従業員は、「パート・アルバイト」，「労働者派遣事業所の派遣社員」，「契約社員・嘱託」及び「その他」の合計

注2) 「正規の職員・従業員」と「非正規の職員・従業員」の合計に占める割合

図1 雇用形態別にみた雇用者（役員を除く）の推移



2 非正規の職員・従業員の内訳^注

- ・非正規の職員・従業員（1708万人）のうち、パート・アルバイトは1150万人と、前年同期に比べ18万人の増加。3期連続の増加。労働者派遣事業所の派遣社員は98万人と、18万人の減少。5期連続の減少。契約社員・嘱託は324万人と、6万人の増加。2期ぶりの増加

注）非正規の職員・従業員の内訳は、勤め先での呼称によるものである。

図2 非正規の職員・従業員の内訳の推移

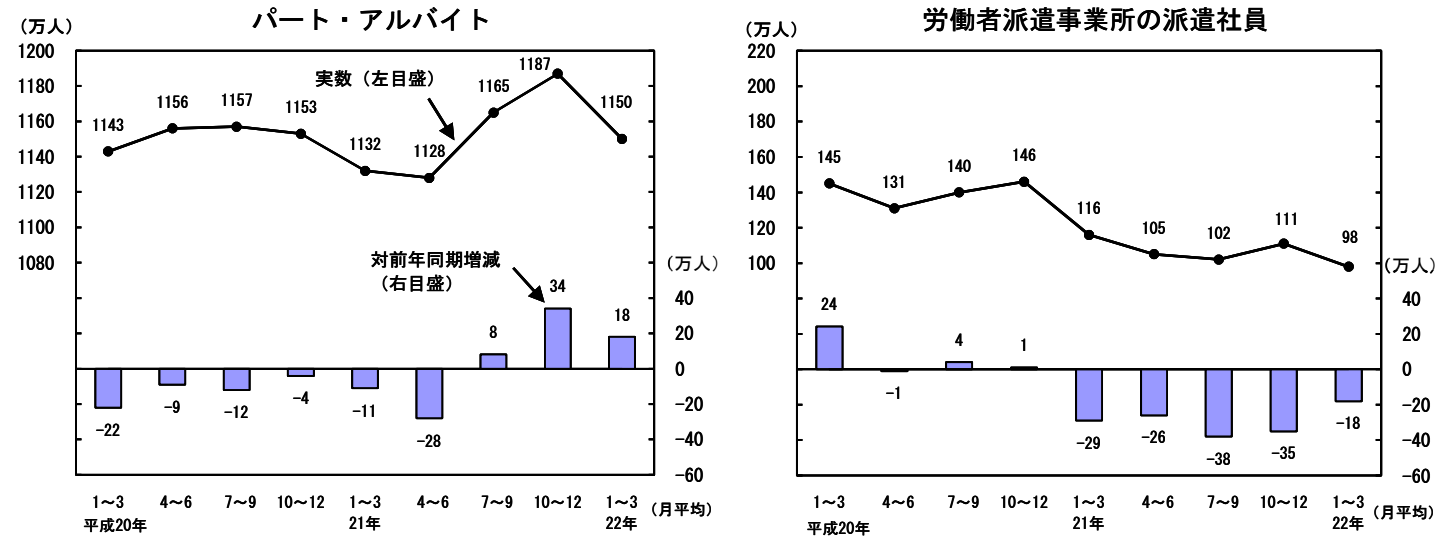
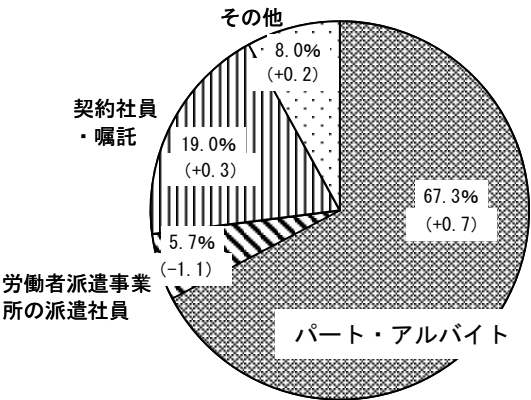
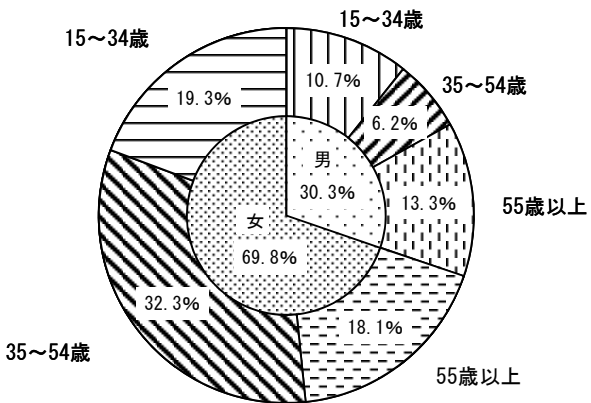


図3 非正規の職員・従業員の内訳の割合
(平成22年1~3月期平均)

() 内は対前年同期増減 (ポイント)



《参考図表》 男女、年齢階級別にみた非正規の職員・従業員の内訳 (平成22年1~3月期平均)



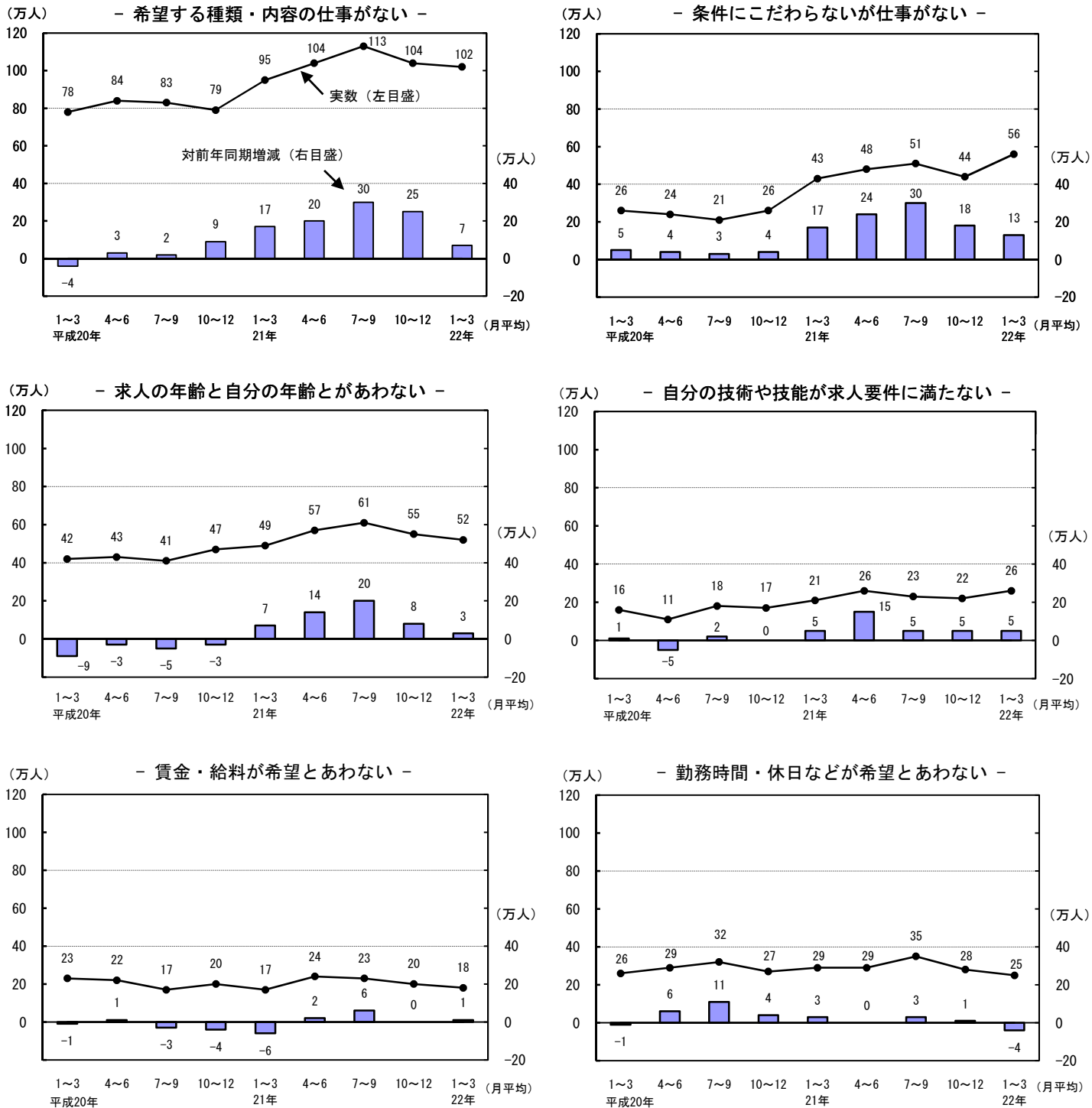
<実数>		(万人)		
	男女計	男	女	
総数	1708	518	1192	
15~34歳	515	182	330	
35~54歳	659	106	552	
55歳以上	535	227	310	
<対前年同期増減>		男女計	男	女
総数		9	6	5
15~34歳		-21	-12	-13
35~54歳		21	16	8
55歳以上		11	-1	11

Ⅱ 完全失業者

1 仕事につけない理由

- 完全失業者（332万人）のうち、
「条件にこだわらないが仕事がない」は56万人と、前年同期に比べ13万人の増加。
「希望する種類・内容の仕事がない」は102万人と、7万人の増加

図4 仕事につけない理由別にみた完全失業者の推移



2 失業期間

- 完全失業者（332万人）のうち、
「3か月未満」が89万人と、前年同期に比べ27万人の減少。
「3か月以上」が232万人と、49万人の増加。このうち「1年以上」は114万人と、23万人の増加

図5 失業期間別にみた完全失業者の推移

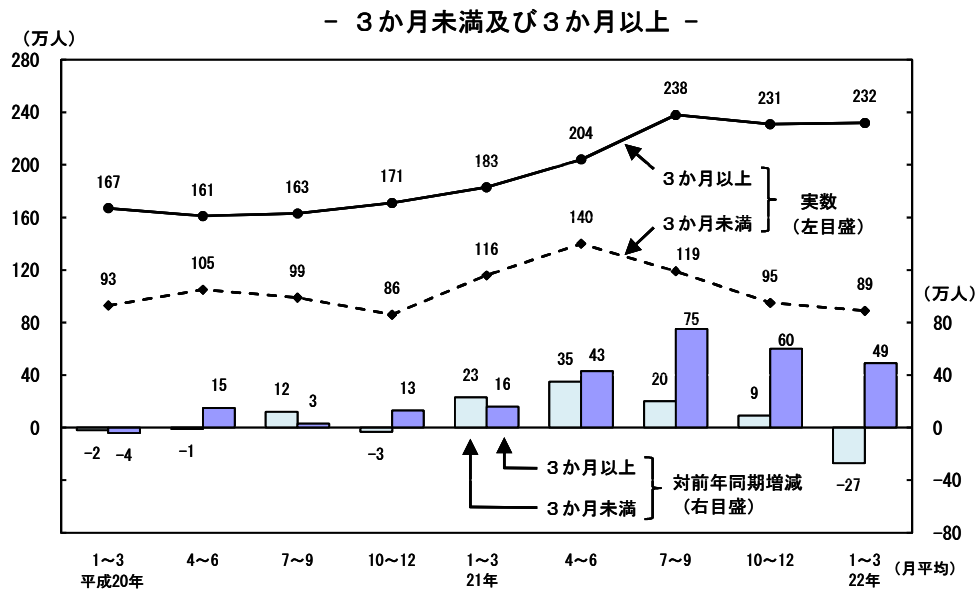
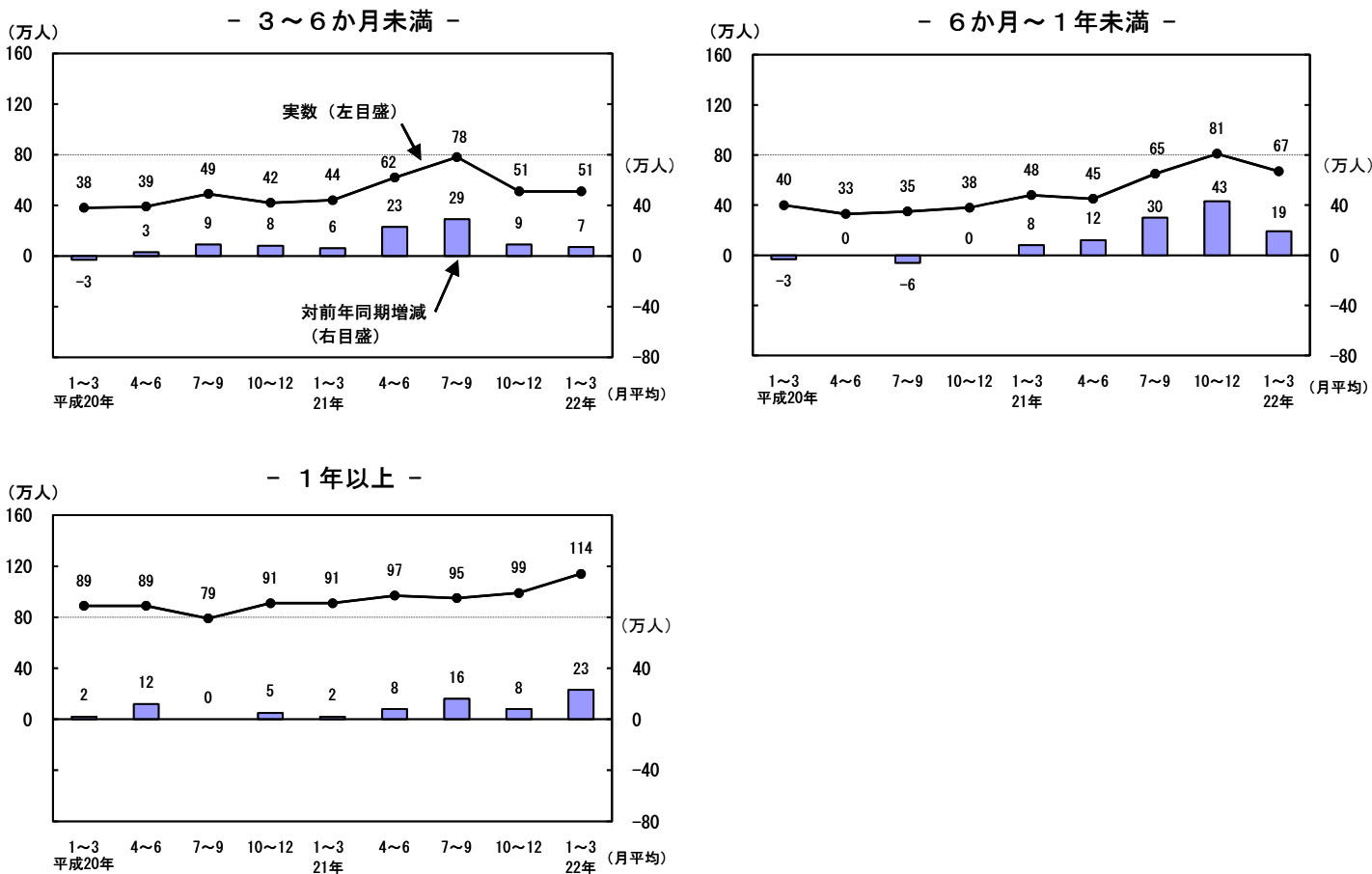


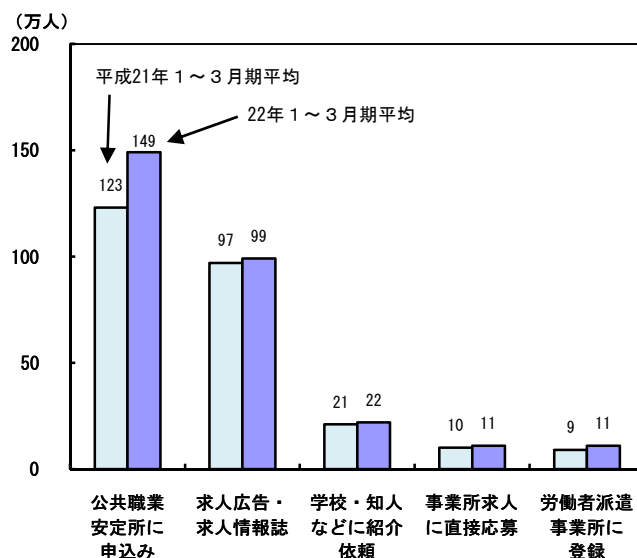
図6 失業期間が「3か月以上」の内訳別にみた完全失業者の推移



3 主な求職方法

- 完全失業者（332万人）のうち、「公共職業安定所に申込み」が149万人と最も多く、前年同期に比べ26万人の増加。次いで「求人広告・求人情報誌」が99万人と2万人の増加

図7 主な求職方法別にみた完全失業者



4 前職の雇用形態^注

- 「正規の職員・従業員」だった者は68万人と、前年同期に比べ6万人の増加。
- 「非正規の職員・従業員」だった者は59万人と、7万人の減少

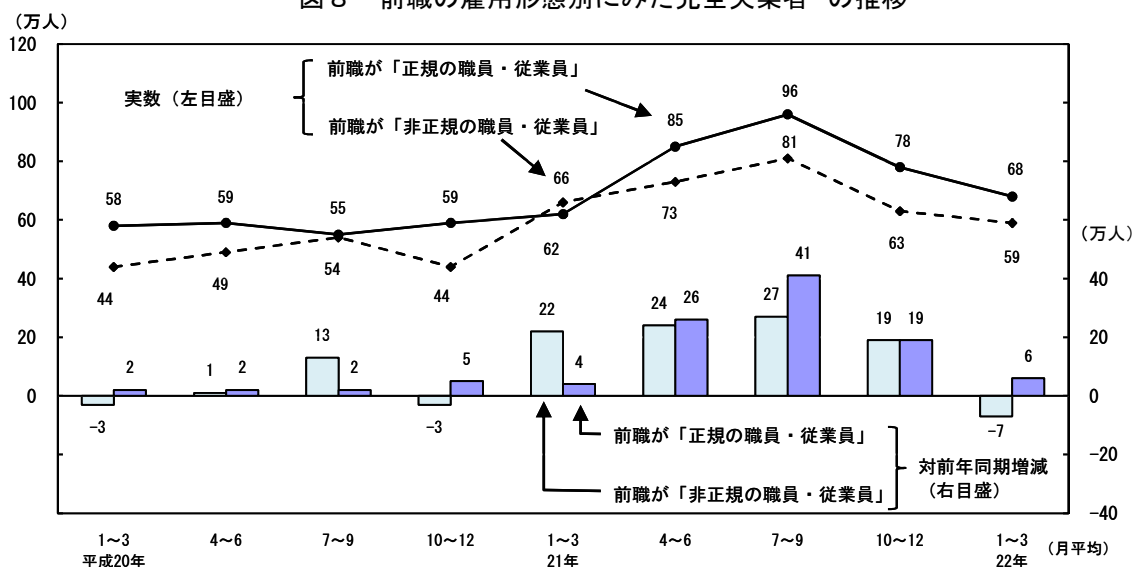
注) 完全失業者のうち過去1年間に離職した者の前職の雇用形態。詳細は表2参照

表2 前職の雇用形態別にみた完全失業者の推移

(万人)

		実数					対前年同期増減				
		平成21年				22年	平成21年				22年
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
完全失業者		304	347	361	331	332	41	77	95	71	28
うち 前職あり		284	322	342	310	306	40	74	95	65	22
うち 仕事を辞めたため求職		217	248	269	239	247	34	55	82	47	30
うち 過去1年間に離職		130	164	182	145	131	24	52	69	38	1
うち 役員を除く雇用者		127	157	177	141	126	25	49	68	38	-1
雇用形態 前職の	正規の職員・従業員	62	85	96	78	68	4	26	41	19	6
	非正規の職員・従業員	66	73	81	63	59	22	24	27	19	-7
	パート・アルバイト	40	41	47	39	35	8	8	9	12	-5
	労働者派遣事業所の派遣社員	23	26	29	19	16	15	15	16	5	-7
	その他	3	6	5	5	8	-1	1	2	2	5

図8 前職の雇用形態別にみた完全失業者^注の推移



注) 過去1年間に離職した者

Ⅲ 非労働力人口

1 就業希望の有無

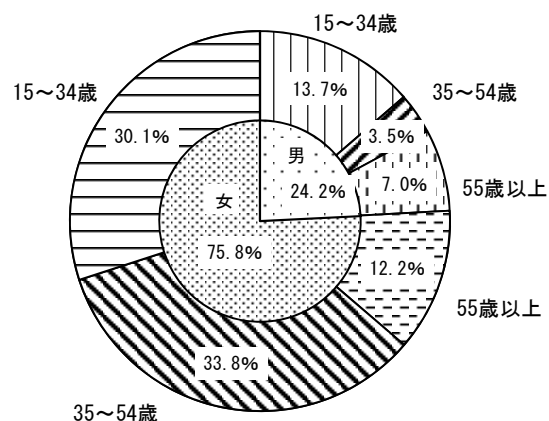
- ・就業希望者（就業は希望しているものの、求職活動をしていない者）は459万人と、前年同期に比べ10万人の減少
- ・就業内定者は101万人と、9万人の減少
- ・就業非希望者（就業を希望していない者）は3935万人と、52万人の増加

表3 就業希望の有無，非求職理由別にみた非労働力人口

平成22年1～3月期平均				(万人)		
	実数			対前年同期増減		
	男女計	男	女	男女計	男	女
非労働力人口	4497	1520	2977	33	27	6
就業希望者	459	111	348	-10	-12	2
適当な仕事がありそうにない（以下5項目の合計）	168	40	128	7	-7	14
近くに仕事がありそうにない	37	8	29	7	1	5
自分の知識・能力にあう仕事がありそうにない	21	8	13	0	-1	1
勤務時間・賃金などが希望にあう仕事がありそうにない	58	7	51	6	-3	10
今の景気や季節では仕事がありそうにない	24	8	17	-1	0	0
その他適当な仕事がありそうにない	27	9	18	-7	-4	-3
家事・育児のため仕事が続けられそうにない	111	1	110	-15	0	-15
健康上の理由	61	22	39	0	-4	4
その他	105	43	63	0	-1	2
就業内定者	101	51	50	-9	-5	-4
就業非希望者	3935	1358	2578	52	44	8

《参考図表》 男女，年齢階級別にみた非労働力人口の内訳（平成22年1～3月期平均）

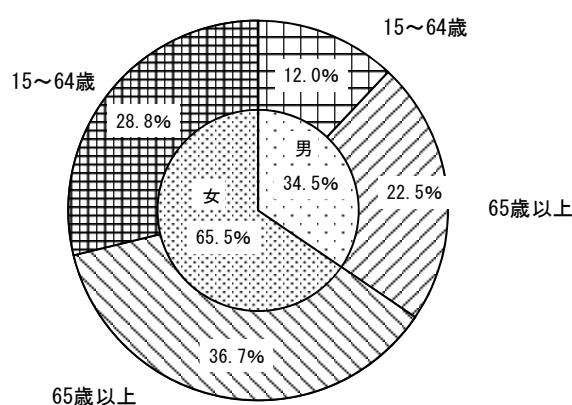
－ 就業希望者 －



〈実数〉 (万人)			
	男女計	男	女
総数	459	111	348
15～34歳	200	63	138
35～54歳	170	16	155
55歳以上	88	32	56

〈対前年同期増減〉			
	男女計	男	女
総数	-10	-12	2
15～34歳	-17	-10	-6
35～54歳	7	0	8
55歳以上	-1	-2	1

－ 就業非希望者 －



〈実数〉 (万人)			
	男女計	男	女
総数	3935	1358	2578
15～64歳	1608	473	1135
65歳以上	2327	884	1443

〈対前年同期増減〉			
	男女計	男	女
総数	52	44	8
15～64歳	-5	14	-18
65歳以上	57	29	28

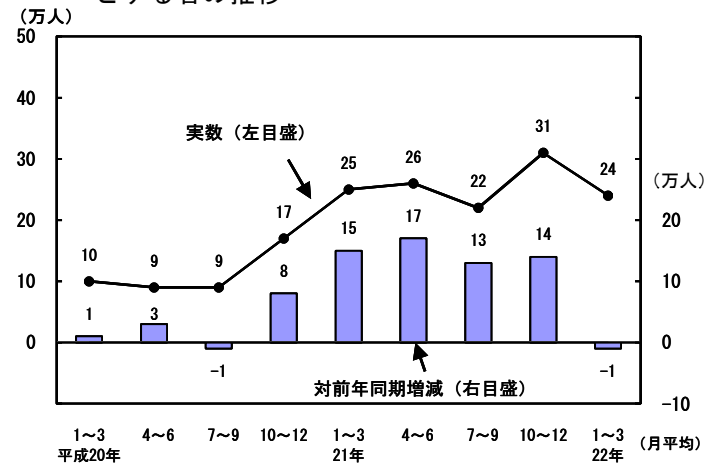
2 就業希望者

(1) 求職活動をしていない理由^注

- ・「適当な仕事がありそうにない」とする者は168万人と、前年同期に比べ7万人の増加。
このうち「今の景気や季節では仕事がありそうにない」とする者は24万人と、1万人の減少

注) 非求職理由を示す。

図9 「今の景気や季節では仕事がありそうにない」とする者の推移



(2) 過去1年間に求職活動をしたことがある者

- ・「適当な仕事がありそうにない」とする者（168万人）のうち「仕事があればすぐつける」とする者は73万人。
このうち「調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある」とする者は48万人と、前年同期に比べ9万人の増加

表4 非労働力人口における就業希望者の状況

		(万人)							
		平成20年				21年			
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
非労働力人口	うち 就業希望者	4455	4313	4372	4411	4464	4371	4394	4462
	うち 求職活動をしていなかったのは「適当な仕事がありそうにない」ためである者	461	464	450	442	469	461	483	473
	うち 仕事があればすぐつくことができる者	149	151	148	149	161	163	163	164
	うち 調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある者	52	59	53	54	67	67	67	66
	うち 調査期間中は求職活動をしていなかったが、過去1年間に求職活動をしたことがある者	73							
		実数				実数			
		32	37	36	36	39	43	44	43
		対前年同期増減				対前年同期増減			
		-8	3	2	3	7	6	8	7